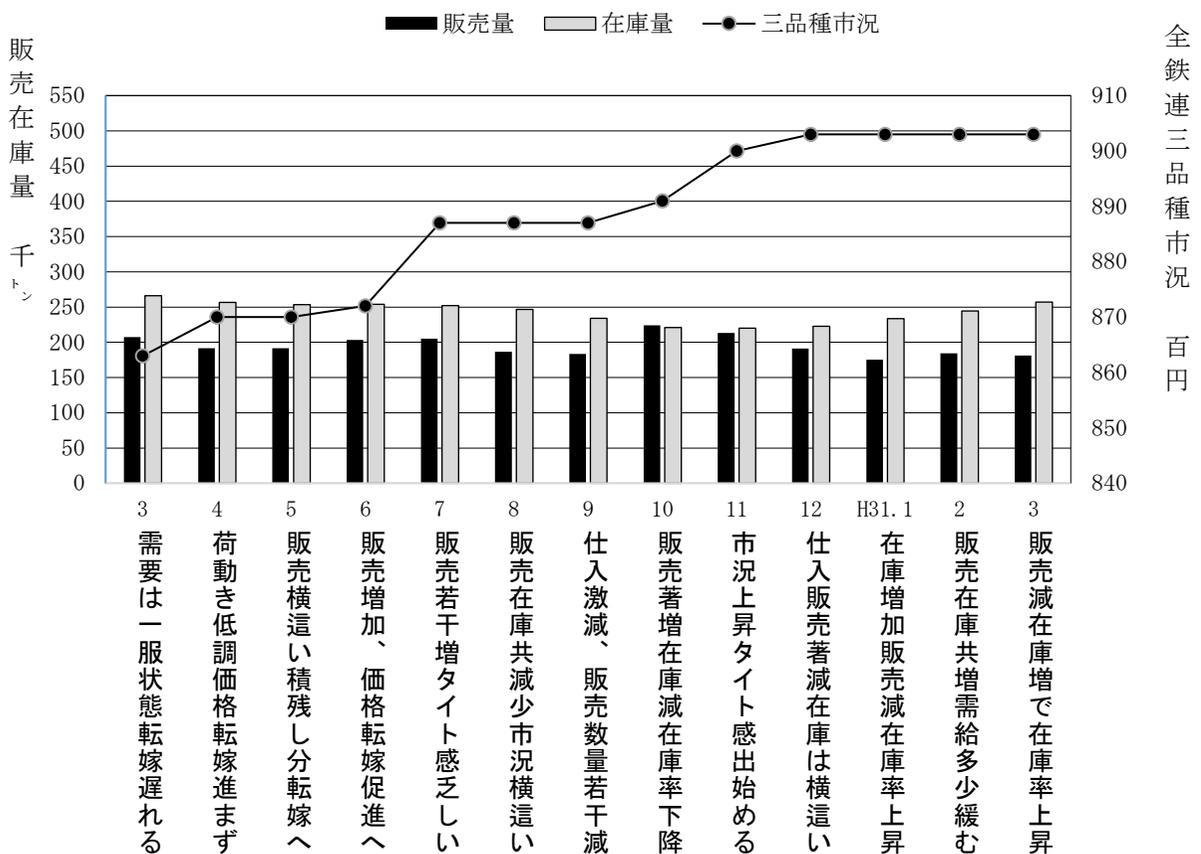


<総計欄> 3月の仕入量は193,616トン前月比-1.0%、前年同月比-9.7%、販売量は181,038トン前月比-1.8%、前年同月比-12.8%。前月比では仕入、販売とも減少、前年同月比は仕入減、販売は著減しました。一方、在庫量は257,133トン前月比+5.1%、前年同月比-3.3%、在庫は前月比では増加、前年同月比は減少しました。在庫率は142.0ポイントと上昇しました。メーカーの出荷が順調で、ボルト不足による中小の建築物の遅れにより販売減在庫増になったと思われます。第4四半期の販売量では不需求期とはいえ大きく落ち込みました。2018年度販売量をみても過去5年で一番少ない販売量でした。鉄鋼二次流通の商売が縮小している様に思われます。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼4.9%減少、東京8.8%減少、大阪7.6%増加、愛知は6.5%減少しています。H形鋼は0.7%微増、東京4.6%減少、大阪0.6%微減、愛知12.5%著増となっています。その他品種では山形鋼0.5%微減、溝形鋼2.1%減少、コラム3.4%減少、C形鋼6.7%増加しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼1.7%増加、東京5.8%増加、大阪2.9%減少、愛知2.3%減少しています。H形鋼は11.1%著増、東京10.4%著増、大阪12.8%著増、愛知8.3%増加しています。その他品種は山形鋼±0、溝形鋼1.1%増加、コラム0.2%微減、C形鋼4.7%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移



全鉄連三品種市況 百円